

平成 26 年度海洋調査実習概要報告

北見工業大学ではガスハイドレート研究のために、環境・エネルギー研究推進センターが中心となって、国内外のさまざまな水域で国内・国際共同研究を展開している。これまで数多くの学生たちもフィールド調査に参加してきたが、その著しい教育効果に着目して、フィールド調査を教育現場として活用するための各種実習が、数年前から計画され実施されている。以下に、平成 26 年度の活動実績の概要を示す。

	調査実習水域	調査船 (括弧内は船籍)	実習実施日 (括弧内は調査期間)	参加学生	参加学生数	担当教職員 (乗船者のみ)
海外実習 1	サハリ ン沖(ロ シア連 邦)	ラブレ ンテ イエフ 号 (ロシア 連邦)	6月23日 および 6月27日 (6月18日 ～7月1日)	大学院 生 (M1)	6名	南教授(代表)、八久保 准教授
海外実習 2	バイカ ル湖(ロ シア連 邦)	ベレシ ャー ギン号 (ロシア 連邦)	8月17日 および 8月26日 (8月15日 ～8月30日)	大学院 生 (M1)	5名	南教授(代表)、山下教 授、八久保准教授、坂 上助教
国内実習 1	紋別沖 (日本)	ガリン コ号 (日本)	9月26日 ～9月28日	学部生(1 ～4年 ;34 名)、大学院 生(M1～ 2 ; 11名)	45名	館山准教授(代表)、南 教授、山下教授、八久 保准教授、坂上助教、 大野助教、山崎助教、 百武技術員、平松技術 員
国内実習 2	十勝沖 (日本)	おしよ ろ丸 (日本)	11月22日 ～ 11月25日	学部生(1 ～4年 ;26 名)、大学院 生(M1～2, D3; 13名)	39名	山下教授(代表)、南教 授、八久保准教授、館 山准教授、坂上助教、 山崎助教、百武技術員